

株主のみなさまへ

# 第109期 事業報告書

平成22年4月1日から  
平成23年3月31日まで



 静 甲 株 式 会 社



## 目次

- ごあいさつ 1
- 事業の概況(連結) 2
- グループ概要(連結子会社) 7
- 連結業績の推移 8
- 個別業績の推移 9
- 連結財務諸表 10
- 個別財務諸表 11
- トピックス 12
- 会社の概況 13

## ごあいさつ

株主の皆さまにはますますご清栄のこととご拝察申し上げます

このたびの東日本大震災により被災された方々に対しましては、心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、当社第109期(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)の事業報告書をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国の経済は、期前半は新興国市場の需要拡大や国による経済対策の効果などにより、緩やかな回復基調となりました。しかし、長引く円高やデフレなどに加え、期後半はエコカー補助金の終了により国内の新車販売が減少し、さらに平成23年3月に発生した東日本大震災の影響も重なり、期末に向けて厳しい状況となりました。

このような経済環境のなかで、当社グループは、平成22年8月1日付で株式交換により静岡スバル自動車株式会社を完全子会社化し、車両関係事業を中心に事業再構築の取組みを進めてまいりました。また各事業において顧客満足の向上を重要な経営目標に掲げ、積極的な営業活動並びに生産活動を推進してまいりました。

これらの結果、当社グループの売上高は、前連結会計年度を上回る216億7千万円(前期比2.1%増)となりましたが、株式交換に伴う経費の増加などにより経常利益は3億1千3百万円(前期比13.7%減)となりました。また完全子会社化に伴って特別利益として14億6千8百万円の負ののれん発生益が発生しましたが、事業再構築の一環として資産のグルーピング変更と車両関係事業の営業拠点統廃合を決定したことにより、特別損失として9億7千9百万円の減損損失を計上しましたので、当期純利益は6億1千8百万円(前期比325.4%増)となりました。

当期の期末配当金につきましては、1株につき8円として、先に実施いたしました中間配当金と合計した年間の支払配当金は1株につき16円とさせていただきます。

なお、このたびの震災により、当社グループでは直接的な人的・物的被害は発生しておらず、影響は比較的軽微でありました。しかしながら、今後の見通しにつきましては、商品や材料・部品の納入遅れや不安定な電力供給など、予断を許さない状況が続くことが予想されます。このような状況ではありますが、当社グループでは、被災されたお客さまの生産設備の復旧を全力でサポートするとともに、納期の遅れなど、お客さまへの影響を最小にするため、全力を挙げて取組む所存でございます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年6月

取締役社長 鈴木恵子

# 事業の概況(連結)

## 産業機械事業

### 【概況】

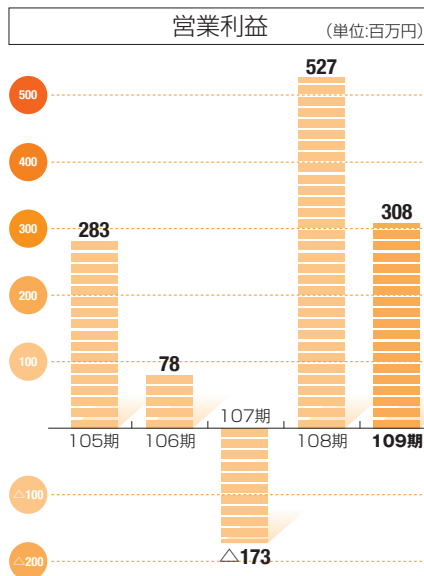
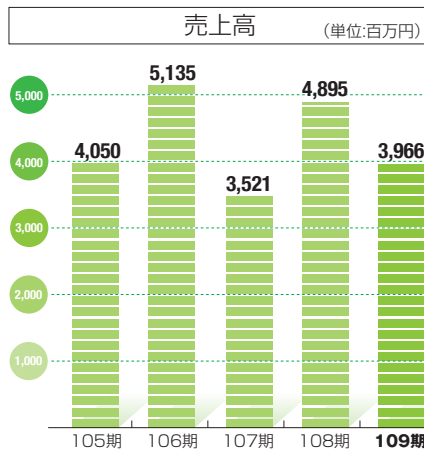
国内景気の先行き不透明感から、新規設備の導入を控える傾向があり、特にトイレタリーや化粧品業界からの引合いが減少して厳しい市況で推移いたしました。販売促進のため充填巻締機のリニューアルやその他の技術開発を行い、内覧会の実施などを通じて受注確保に努めるとともに、原価管理の強化に取組みました。しかし、前連結会計年度に比べ大型案件が少なかったこともあり、売上高は39億6千6百万円(前期比19.0%減)、営業利益は3億8百万円(前期比41.6%減)となりました。

### 【対処すべき課題】

産業機械事業では、お客さまのニーズに合った製品づくりのために研究開発を推進して、展示会への出展などを通して市場にアピールし、受注の確保に努めます。また、変動費管理を柱とした原価管理を更に強化するとともに、機械の標準化を推進して、原価の低減並びにより品質の高い製品づくりに取組んでまいります。



めんつゆ充填ライン



## 冷間鍛造事業

### 【概況】

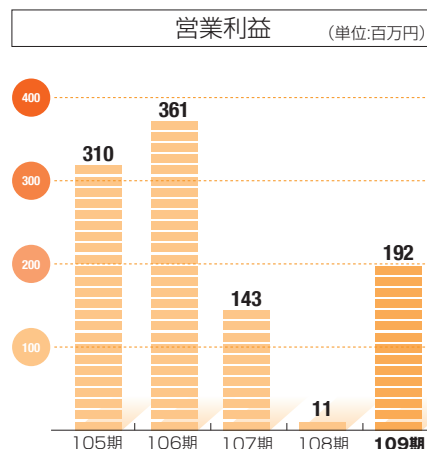
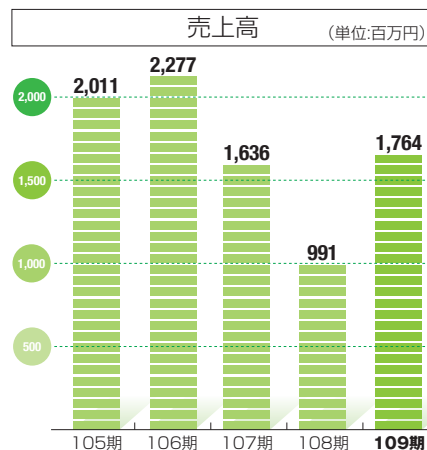
電動工具部品は、中国向けなど納入先メーカーの輸出が回復基調で推移したことにより、低調であった前連結会計年度を上回る実績となりました。また、自動車部品も、納入先の北米向け輸出が堅調であったことから増加いたしました。受注の回復に対応するため、交替制勤務を実施し、生産効率の向上に努めた結果、売上高は17億6千4百万円(前期比77.9%増)、営業利益は1億9千2百万円(前連結会計年度は1千1百万円の利益)となりました。

### 【対処すべき課題】

冷間鍛造事業では、幅広い分野からバランスよく安定した受注を確保するため、産業機械部品分野の拡大に取組み、新規ユーザーの開拓を推進いたします。また、材料費や外注費などの削減に取組むとともに、サーボプレス機を活用したプレス工程の改善や、老朽化した生産設備の更新などにより生産効率の向上を図り、原価低減に取組んでまいります。



自動車部品等



# 事業の概況(連結)

## 電機機器事業

### 【概況】

県内製造業の需要回復により、主力であるFA関連機器の販売が堅調に推移するなか、エンドユーザーに対する営業と販売店への営業支援を強化するとともに、新規顧客の開拓に努めました。空調機器や発電設備等の設備機器は、新規案件が少なく厳しい市況となりましたが、大型の機械設備を売上げることができたため、売上高は40億6千1百万円(前期比34.3%増)、営業利益は1億6千9百万円(前期比78.6%増)となりました。

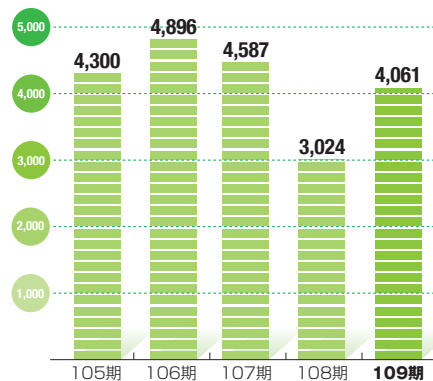
### 【対処すべき課題】

電機機器事業では、エンドユーザーへの営業を推進するとともに、技術サポート力を強化してシステム受注の拡大を図ってまいります。設備機器では、省エネルギーや環境関連などの分野における提案営業を推進するとともに、防災意識の高まりから引き合いが増加している非常用発電機などの販売に努めます。また、製造業を中心とした顧客の需要開拓に組織横断的に取組んで売上の確保に努めます。

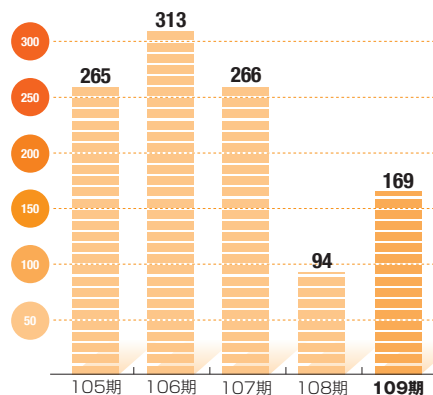


取扱商品の三菱電機(株) 汎用ACサーボ

売上高 (単位:百万円)



営業利益 (単位:百万円)



## 車両関係事業

### 【概況】

期前半はエコカー減税・補助金の効果により好調に推移いたしましたが、後半は補助金の終了に伴って厳しい市況となりました。また、期末には震災の影響で新車の納入が滞る事態となったこともあり、スバル新車部門の販売台数は前連結会計年度を下回りました。この結果、売上高は117億7千8百万円(前期比3.3%減)となりましたが、営業利益は、営業拠点の統廃合などにより販売管理費を抑えることができたため、1億3千4百万円(前期比12.8%増)となりました。

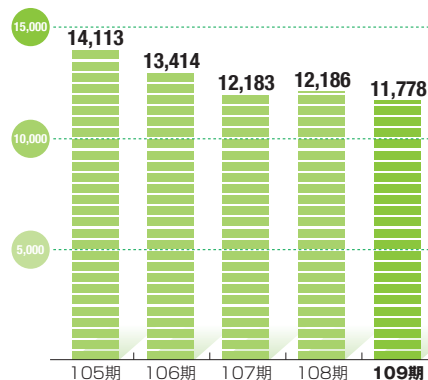
### 【対処すべき課題】

車両関係事業では、現在の売上規模に見合った営業体制への転換を図り、固定費削減を始めとした経営効率の向上を推進するために、これまで一部営業拠点の統廃合を進めてまいりました。今後につきましても、小型店舗を中心とした営業所の統廃合を計画しております。一方で、平成22年4月のパルシェセンター浜松の新設に続き、平成23年5月にはパルシェセンター静岡の移転を実施し、さらには老朽化した営業所の建替えなど、店舗の整備を進めてまいります。

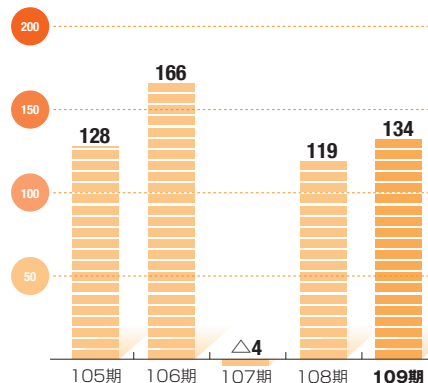


スバル レガシィB4 アイサイトVer.2

売上高 (単位:百万円)



営業利益 (単位:百万円)

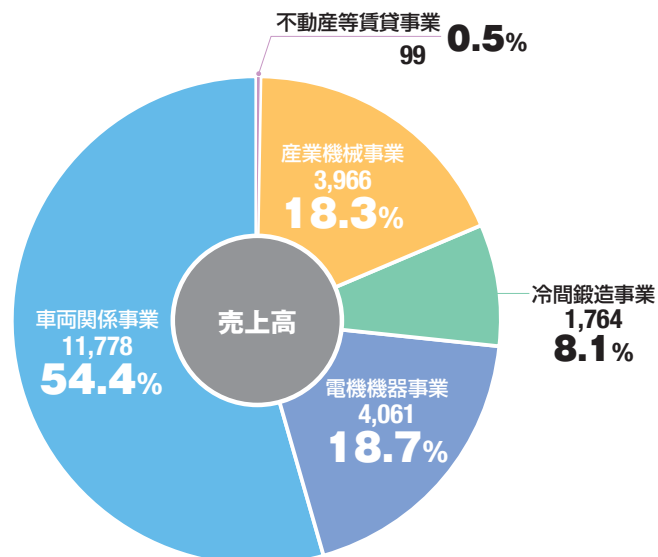


# 事業の概況(連結)

## セグメント別売上高・営業利益

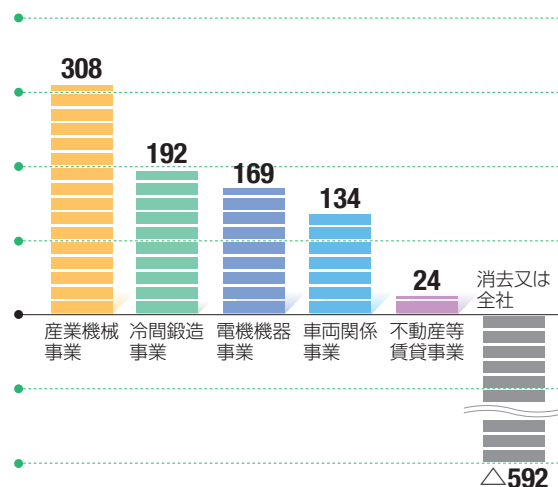
### ■売上高

(単位:百万円)



### ■営業利益

(単位:百万円)



(注)「消去又は全社」は、主にセグメント別に配賦することができない当社の管理部門に係わる費用であります。

### ■セグメント別の主要な事業内容

セグメント	主要な事業内容
産業機械事業	包装機械等の製造販売、修理・改造
冷間鍛造事業	冷間鍛造製品の製造販売
電機機器事業	FA機器・空調機器・冷凍機器等電機機器の販売及び空調設備設置工事
車両関係事業	車両及びその関連商品の販売
不動産等賃貸事業	駐車場経営及び貸自動車事業等



# グループ概要 (連結子会社)



## ■連結子会社の状況 (平成23年3月31日現在)

会社名	資本金	当社の議決権比率	主な事業内容
日本機械商事株式会社(本社:東京都)	150,000 千円	100.00 %	包装機械の販売
静岡スバル自動車株式会社	50,000	100.00	自動車の販売修理
株式会社エコノス・ジャパン	30,000	100.00	殺菌装置、食品加工機械等の製造販売
静岡自動車株式会社	16,000	100.00	駐車場業・レンタカー業
静岡バイオート株式会社	20,000	100.00	輸入自動車の販売修理

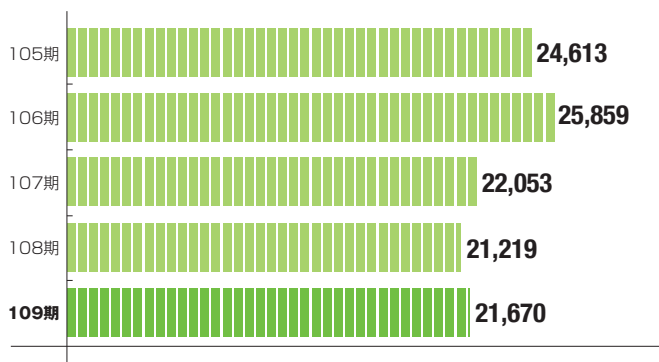
(注) 1. 当社は、株式交換により、平成22年8月1日付で静岡スバル自動車株式会社を100%子会社としました。

2. 静岡バイオート株式会社は、静岡スバル自動車株式会社の100%子会社であります。

# 連結業績の推移

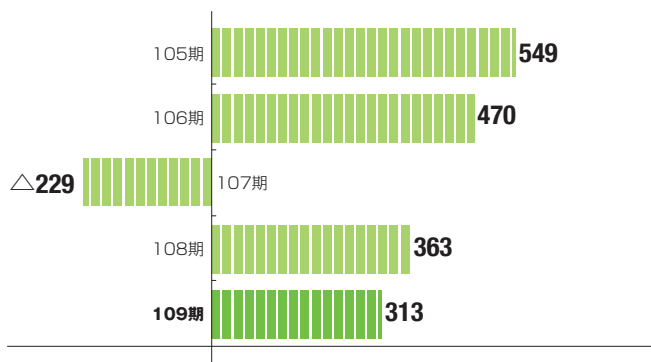
## 売上高

(単位:百万円)



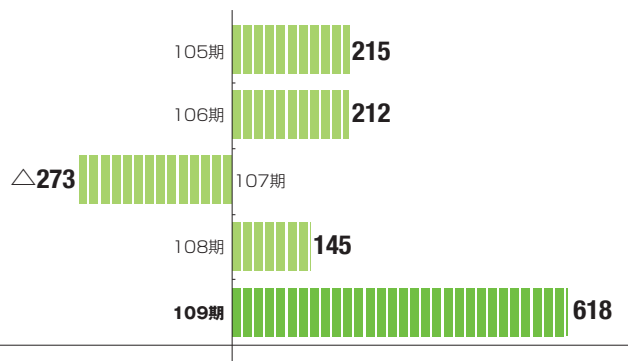
## 経常利益

(単位:百万円)



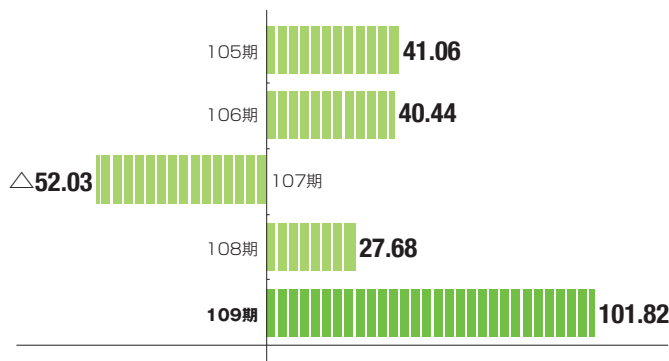
## 当期純利益

(単位:百万円)



## 1株当たり当期純利益

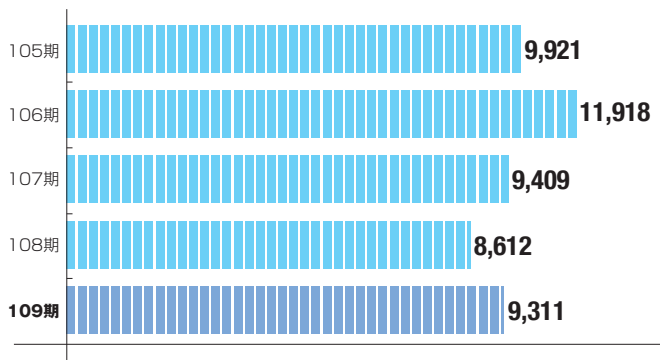
(単位:円)



# 個別業績の推移

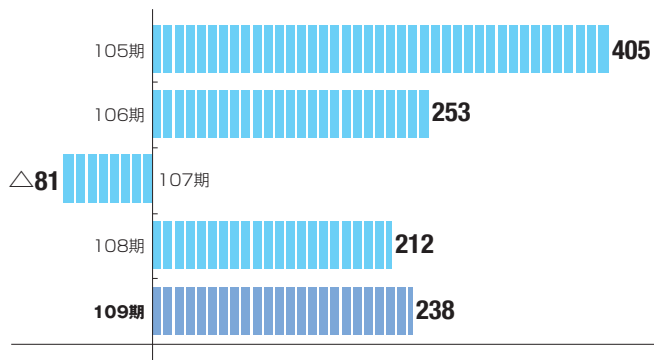
## 売上高

(単位:百万円)



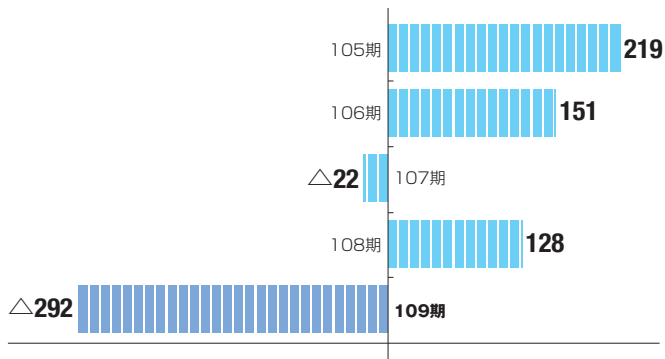
## 経常利益

(単位:百万円)



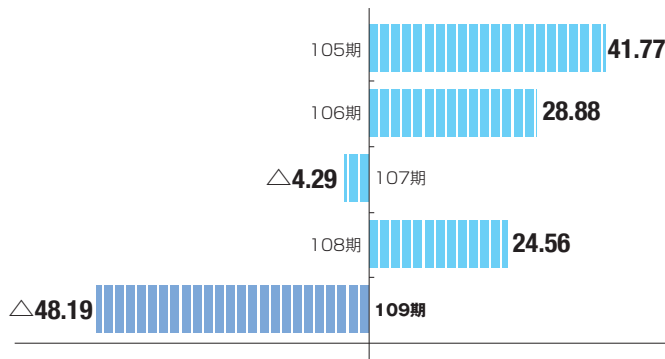
## 当期純利益

(単位:百万円)



## 1株当たり当期純利益

(単位:円)



# 連結財務諸表

## ■連結貸借対照表(平成23年3月31日現在)

(単位:千円)

資産の部		負債及び純資産の部	
<b>流動資産</b>	<b>8,390,067</b>	<b>流動負債</b>	<b>3,326,817</b>
現金及び預金	2,831,146	支払手形及び買掛金	1,742,026
受取手形及び売掛金	3,716,092	その他	1,584,790
たな卸資産	1,366,660		
その他	480,136	<b>固定負債</b>	<b>1,061,741</b>
貸倒引当金	△3,969	〈負債合計〉	〈 4,388,558〉
<b>固定資産</b>	<b>7,562,549</b>	<b>株主資本</b>	<b>11,304,588</b>
(有形固定資産)	(5,747,396)	資本金	1,337,000
建物及び構築物	1,869,908	資本剰余金	1,833,576
土地	2,996,375	利益剰余金	8,134,656
その他	881,112	自己株式	△644
(無形固定資産)	( 42,260)	その他の包括利益累計額	259,469
(投資その他の資産)	(1,772,891)	その他有価証券評価差額金	259,469
投資有価証券	1,223,764	〈純資産合計〉	〈11,564,058〉
その他	549,196		
貸倒引当金	△68		
<b>資産合計</b>	<b>15,952,616</b>	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>15,952,616</b>

## ■連結損益計算書(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(単位:千円)

科目	金額
<b>売上高</b>	<b>21,670,280</b>
売上原価	17,379,945
販売費及び一般管理費	4,053,499
<b>営業利益</b>	<b>236,836</b>
営業外収益	107,900
営業外費用	30,996
<b>経常利益</b>	<b>313,739</b>
特別利益	1,469,260
特別損失	1,038,299
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>744,701</b>
法人税、住民税及び事業税	109,577
法人税等調整額	50,124
少数株主利益	△33,107
<b>当期純利益</b>	<b>618,107</b>

## ■連結キャッシュ・フロー計算書(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(単位:千円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,968
投資活動によるキャッシュ・フロー	△636,705
財務活動によるキャッシュ・フロー	18,113
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,790
現金及び現金同等物の増減額	△616,413
現金及び現金同等物の期首残高	3,383,654
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	22,171
現金及び現金同等物の期末残高	2,789,412

## ■連結株主資本等変動計算書(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
平成22年3月31日残高	1,337,000	1,242,814	7,610,401	△558	10,189,657	268,588	2,116,698	12,574,945
<b>連結会計年度中の変動額</b>								
株式交換による増加		590,761			590,761			590,761
剰余金の配当			△93,852		△93,852			△93,852
当期純利益			618,107		618,107			618,107
自己株式の取得				△85	△85			△85
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						△9,119	△2,116,698	△2,125,817
<b>連結会計年度中の変動額合計</b>	<b>—</b>	<b>590,761</b>	<b>524,254</b>	<b>△85</b>	<b>1,114,930</b>	<b>△9,119</b>	<b>△2,116,698</b>	<b>△1,010,886</b>
平成23年3月31日残高	1,337,000	1,833,576	8,134,656	△644	11,304,588	259,469	—	11,564,058

# 個別財務諸表

## ■貸借対照表(平成23年3月31日現在)

(単位:千円)

資産の部		負債及び純資産の部	
<b>流動資産</b>	<b>5,564,626</b>	<b>流動負債</b>	<b>1,493,510</b>
現金及び預金	1,836,069	支払手形及び買掛金	812,601
受取手形及び売掛金	2,802,953	その他	680,909
たな卸資産	732,718		
その他	195,696	<b>固定負債</b>	<b>537,370</b>
貸倒引当金	△2,811	〈負債合計〉	〈2,030,880〉
<b>固定資産</b>	<b>5,816,940</b>	<b>株主資本</b>	<b>9,120,773</b>
(有形固定資産)	(2,425,849)	資本金	1,337,000
建物及び構築物	749,991	資本剰余金	1,833,576
土地	1,183,315	利益剰余金	5,950,841
その他	492,542	自己株式	△644
(無形固定資産)	( 28,483)	評価・換算差額等	229,912
(投資その他の資産)	(3,362,606)	その他有価証券評価差額金	229,912
投資有価証券	997,010	〈純資産合計〉	〈9,350,685〉
その他	2,365,865		
貸倒引当金	△269		
<b>資産合計</b>	<b>11,381,566</b>	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>11,381,566</b>

## ■損益計算書(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(単位:千円)

科目	金額
<b>売上高</b>	<b>9,311,870</b>
売上原価	7,846,713
販売費及び一般管理費	1,327,334
<b>営業利益</b>	<b>137,821</b>
営業外収益	124,409
営業外費用	23,516
<b>経常利益</b>	<b>238,715</b>
特別利益	1,001
特別損失	487,669
<b>税引前当期純利益</b>	<b>△247,953</b>
法人税、住民税及び事業税	96,955
法人税等調整額	△52,352
<b>当期純利益</b>	<b>△292,556</b>

## ■株主資本等変動計算書(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					評価・ 換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
平成22年3月31日残高	1,337,000	1,242,814	6,337,250	△558	8,916,506	249,347	9,165,854
<b>事業年度中の変動額</b>							
株式交換による増加		590,761			590,761		590,761
剰余金の配当			△93,852		△93,852		△93,852
当期純利益			△292,556		△292,556		△292,556
自己株式の取得				△85	△85		△85
株主資本以外の項目の事業 年度中の変動額(純額)						△19,435	△19,435
<b>事業年度中の変動額合計</b>	—	590,761	△386,409	△85	204,266	△19,435	184,831
平成23年3月31日残高	1,337,000	1,833,576	5,950,841	△644	9,120,773	229,912	9,350,685

※本事業報告書中の記載金額は、表示単位未満を切捨てて表記しております。

# トピックス

## ■プロパックアジア出展(産業機械事業)

平成23年6月15日～18日まで、タイ・バンコクの国際貿易展示場で開催された、アジアにおける代表的な包装関連の国際展示会であるPropak Asia 2011(プロパックアジア)に、小容量リキッドボトリングシステムを出展しました。



出展機



ブースの様子

## ■ポルシェセンター静岡オープン(車両関係事業)

連結子会社の静岡スバル自動車(株)が、平成23年5月14日、ポルシェセンター静岡を移転オープンしました。広いショールームに、最新の機器を備えたフィッティングラウンジを設け、お客さま最優先の店づくりを目指しました。これからも、地域に密着したサービスを心がけてまいります。



ポルシェセンター静岡(静岡市駿河区聖一色151-1)

# 会社の概況 (平成23年3月31日現在)

●社名	静甲株式会社(SEIKO CORPORATION)	
●設立	昭和14年5月18日	
●資本金	13億3,700万円	
●従業員数	299名	
●株式の状況	発行可能株式総数	19,200,000株
	発行済株式総数	6,482,341株 (自己株式982株を除く)
	株主数	698名
	大株主(上位10名)	

株主名	持株数	持株比率
鈴与ホールディングス株式会社	1,832,260株	28.27%
鈴木恵子	645,870	9.96
有限会社ティエムケイ	476,100	7.34
鈴木美代	340,500	5.25
株式会社静岡銀行	321,500	4.96
株式会社清水銀行	319,290	4.93
清水食品株式会社	204,000	3.15
エスアイエックス エスアイエス エルティエディー	162,500	2.51
鈴与自動車運送株式会社	104,000	1.60
静甲従業員持株会	99,900	1.54

## ●役員 (平成23年6月28日現在)

代表取締役 取締役社長	鈴木 恵子
代表取締役 専務取締役	小野田 敦
代表取締役 専務取締役	鈴木 武夫
取締役	分部 清史
取締役	中村 元保
取締役	瀧高 光治
取締役	大石 透
取締役	掛下 肇彦
常勤監査役	塩谷 達雄
社外監査役	大嶋 秀龍
社外監査役	梅田 健司
社外監査役	馬杉 秀

## 株式事務のご案内

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会…3月31日 期 末 配 当…3月31日 中 間 配 当…9月30日
公告掲載紙	日本経済新聞 なお、決算公告に代えて、貸借対照表、損益計算書は、EDINET(金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム)にて開示しております。 [EDINETホームページアドレス] <a href="http://info.edinet-fsa.go.jp">http://info.edinet-fsa.go.jp</a> ※貸借対照表及び損益計算書は当社ホームページIRコーナーでもご覧いただけます。 [当社ホームページアドレス] <a href="http://www.seiko-co.com">http://www.seiko-co.com</a>
単元株式数	100株
株主名簿管理人	中央三井信託銀行株式会社 〒105-8574 東京都港区芝3丁目33番1号
郵便物送付先・ 電話照会先	中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話 0120-78-2031(フリーダイヤル) 取次事務は、中央三井信託銀行株式会社の全国各支店並びに、日本証券代行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

### 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行にお申出ください。

### 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行にお申出ください。

### 「配当金計算書」について

配当金支払いの際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。